



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東  
 コード番号 6932 URL https://www.endo-lighting.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 飯島 孝 (TEL) 06-6267-7095  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,603	△14.5	1,015	△33.4	1,078	△27.7	657	△38.3
2020年3月期第3四半期	28,763	△2.2	1,525	△15.4	1,491	△26.2	1,066	△19.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 62百万円(△92.1%) 2020年3月期第3四半期 784百万円(49.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	44.49	—
2020年3月期第3四半期	72.16	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	49,372	22,040	44.6
2020年3月期	50,250	22,310	44.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 22,035百万円 2020年3月期 22,305百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	7.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	△14.5	1,300	△48.8	1,300	△49.3	700	△63.5	47.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	14,776,321株	2020年3月期	14,776,321株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	95株	2020年3月期	95株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	14,776,226株	2020年3月期3Q	14,776,226株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに対応する企業活動の自粛や緊急事態宣言の発出により、急速な悪化が続く厳しい状況となりました。夏以降は緩やかに経済活動が再開しつつありましたが、冬の到来とともに新型コロナウイルス感染症の再拡大により、依然として予断を許さない状況が続いております。

また、世界経済においても、一部に回復の兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響によって経済活動は低迷しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、高い省エネ性能に加え、顧客価値を創造する光の質を高めた新製品の開発、製造及び販売に注力して参りました。また、製造部門において継続した品質改善活動及び原価低減活動を行うとともに全社的な販売費及び一般管理費の抑制に努めて参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、24,603百万円（前年同四半期比14.5%の減収）となり、営業利益は1,015百万円（前年同四半期比33.4%の減益）、経常利益は1,078百万円（前年同四半期比27.7%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は657百万円（前年同四半期比38.3%の減益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### a. 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い事業活動が制限される中、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、業務用LED照明器具分野における高いブランドイメージの確立に努めました。

国内市場においては、「LEDZ Pro. 4」カタログを発刊し、無線照明コントロールシステム「Smart LEDZ Fit/Fit Plus」及び無線調光調色器具「Tunable LEDZ」の販売促進に注力しました。既存照明器具の取り換え需要に加え、新設の商業施設やオフィス等の大型施設向け需要の取込を強化し、リモート営業等を取り入れて販売活動を推進しました。また、自然の光、カラー演出、色味調整の三役を1台で備えた次世代無線調光調色器具シリーズ「Synca」を6月に発表し、ショールームにおける実機プレゼンテーション及びオンラインイベント等を開催することで新たな光による価値提案を進めました。

海外市場においては、深刻な都市封鎖の影響を受けて経済活動の停滞が発生する中、リモート営業を展開しました。

しかし、他方でコロナ禍における新規投資の停止及び工事遅延の影響を受けたこともあり、売上高は20,789百万円（前年同四半期比15.2%の減収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）となり、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は1,266百万円（前年同四半期比36.2%の減益）となりました。

#### b. 環境関連事業

当セグメントにおきましては、消費電力削減だけでなく快適な空間づくりについての総合的な提案活動を強化し、食品スーパーを始めとする流通店舗を中心に販売活動を展開しました。当社グループの提供する消費電力削減効果の高い高効率LED照明器具及び顧客の商品・サービスにあわせた空間づくりが可能な制御機器が高い評価を得てレンタル契約実績は対前年同四半期比で増加したものの、機器販売実績は減少しました。

この結果、売上高は5,489百万円（前年同四半期比4.5%の減収）となり、セグメント利益は434百万円（前年同四半期比30.4%の増益）となりました。

#### c. インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、新総合カタログである「AbitaStyle 11」を発刊し、建築士やインテリアデザイナー等に配布し積極的な販売促進活動を展開しました。加えて、家具と照明器具を合わせた販売促進活動を強化し、オフィスなどの新規市場の開拓に注力しました。また、更なるコストダウン、徹底的な物流合理化を推進し採算性の向上に努めました。

この結果、売上高は813百万円（前年同四半期比33.9%の減収）となり、セグメント損失は40百万円（前年同四半期は7百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、49,372百万円(前連結会計年度末比878百万円の減少)となりました。

主な要因は、「現金及び預金」の増加1,332百万円、「受取手形及び売掛金」の減少450百万円、「有形固定資産」の減少617百万円及び「その他流動資産(未収入金等)」の減少1,105百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、27,331百万円(前連結会計年度末比608百万円の減少)となりました。

主な要因は、「有利子負債」の減少86百万円、「支払手形及び買掛金」の減少168百万円、「賞与引当金」の減少204百万円及び「製品保証引当金」の減少40百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、22,040百万円(前連結会計年度末比270百万円の減少)となりました。

主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上657百万円、「配当金の支払い」による減少332百万円、「繰延ヘッジ損益」の減少178百万円及び「為替換算調整勘定」の減少464百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、最近の動向を踏まえ、2020年10月30日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。業績の実績は、今後の様々な要因の変化により、当業績予想と乖離する可能性があります。予想の修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,797	10,130
受取手形及び売掛金	6,250	5,800
商品及び製品	8,595	9,156
仕掛品	188	136
原材料及び貯蔵品	1,193	920
その他	2,428	1,323
貸倒引当金	△112	△189
流動資産合計	27,341	27,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,980	8,971
減価償却累計額	△3,891	△4,105
建物及び構築物(純額)	5,089	4,866
機械装置及び運搬具	2,877	2,961
減価償却累計額	△2,363	△2,466
機械装置及び運搬具(純額)	513	495
レンタル資産	13,798	14,427
減価償却累計額	△7,358	△8,103
レンタル資産(純額)	6,439	6,323
土地	3,498	3,500
リース資産	963	980
減価償却累計額	△573	△671
リース資産(純額)	390	308
建設仮勘定	471	287
その他	3,107	3,192
減価償却累計額	△2,677	△2,758
その他(純額)	429	433
有形固定資産合計	16,832	16,215
無形固定資産		
ソフトウェア	342	349
のれん	2,633	2,366
その他	87	79
無形固定資産合計	3,064	2,795
投資その他の資産		
投資有価証券	153	163
関係会社株式	21	20
退職給付に係る資産	22	58
繰延税金資産	938	989
その他	1,957	1,930
貸倒引当金	△81	△78
投資その他の資産合計	3,012	3,083
固定資産合計	22,909	22,094
資産合計	50,250	49,372

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,655	2,487
短期借入金	3,250	2,650
1年内償還予定の社債	70	—
1年内返済予定の長期借入金	4,910	5,226
リース債務	179	187
未払法人税等	486	219
賞与引当金	402	198
役員賞与引当金	79	79
製品保証引当金	570	529
その他	1,542	1,920
流動負債合計	14,148	13,498
固定負債		
長期借入金	11,107	11,481
リース債務	348	234
繰延税金負債	902	738
役員退職慰労引当金	412	411
退職給付に係る負債	170	189
その他	851	777
固定負債合計	13,791	13,833
負債合計	27,940	27,331
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,539	5,539
利益剰余金	11,848	12,173
自己株式	△0	△0
株主資本合計	22,543	22,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	32
繰延ヘッジ損益	176	△1
為替換算調整勘定	△344	△809
退職給付に係る調整累計額	△74	△54
その他の包括利益累計額合計	△238	△832
非支配株主持分	5	5
純資産合計	22,310	22,040
負債純資産合計	50,250	49,372

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	28,763	24,603
売上原価	18,391	15,483
売上総利益	10,371	9,120
販売費及び一般管理費	8,845	8,104
営業利益	1,525	1,015
営業外収益		
受取利息及び配当金	74	76
受取賃貸料	74	89
為替差益	59	43
助成金収入	—	107
その他	76	32
営業外収益合計	284	350
営業外費用		
支払利息	113	107
売上割引	133	104
その他	71	75
営業外費用合計	318	287
経常利益	1,491	1,078
特別利益		
固定資産売却益	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	29
特別損失合計	0	29
税金等調整前四半期純利益	1,491	1,055
法人税、住民税及び事業税	573	552
法人税等調整額	△148	△153
法人税等合計	425	398
四半期純利益	1,066	656
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,066	657

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,066	656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	28
繰延ヘッジ損益	102	△178
為替換算調整勘定	△393	△464
退職給付に係る調整額	1	19
その他の包括利益合計	△281	△594
四半期包括利益	784	62
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	784	62
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	21,832	5,700	1,230	28,763	28,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,671	48	—	2,720	2,720
計	24,504	5,748	1,230	31,483	31,483
セグメント利益	1,986	333	7	2,326	2,326

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,326
セグメント間取引消去	46
未実現利益の調整額	27
全社費用(注)	△875
四半期連結損益計算書の営業利益	1,525

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	18,337	5,452	813	24,603	24,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,452	36	—	2,489	2,489
計	20,789	5,489	813	27,092	27,092
セグメント利益又は損失(△)	1,266	434	△40	1,660	1,660

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,660
セグメント間取引消去	51
未実現利益の調整額	16
全社費用(注)	△713
四半期連結損益計算書の営業利益	1,015

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。